

平成24年度第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる
被害防止管理委員会会議録

1 会議の名称	平成24年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成25年2月26日(火) 14時00分～14時50分
3 開催場所	富津市役所5階 503会議室
4 審議等事項	(1) 平成24年度事業経過報告及び予算執行状況について (2) 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
5 出席者名	《委員》 平野 和夫、武次 治幸、渡辺 隆二、本吉 貞夫 釵持 壽志、石井 正美、関谷 康男、甲賀 茂、石井正美 向後 宏保、池田 文隆、高木淳子 《事務局》 (千葉県)平田 和弘、大澤 浩司 (富津市)藤江 洋史、小澤 洋、齋藤 光広 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子 (調査団)直井 洋司、萩原 光、
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0 人(定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
<p>富津市生涯学習課藤江課長</p> <p>平野委員長</p>	<p>定時となりましたので、平成24年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者12名、欠席者1名です。過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、平野富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、年度末公私共にご多忙の中、ご臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>また、日頃当市の文化財行政にご理解とご協力を頂きまして深く感謝申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から平田様、千葉県環境生活部自然保護課から大澤様にお越しいただきありがとうございます。</p> <p>昭和62年に設置されました当委員会でございますが、サルや猪・鹿等による作物への被害の声が聞こえる昨今、その役割は益々重要なものとなっております。</p> <p>今回の議題は、</p> <p>(1) 平成24年度事業経過報告及び予算執行状況について。</p> <p>(2) 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について</p> <p>様々な立場からのご意見、ご提案、活発なご審議をお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>続きまして、お手元にお配りしました資料の確認を小澤文化係長よりさせていただきます。</p>
<p>小澤文化係長</p>	<p>それでは資料の確認をさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員名簿と本日の出席表 3 会議の席次表 4 平成24年度被害防止管理事業調査経過報告要旨 5 平成24年度予算執行状況表 6 平成25年度被害管理防止事業計画書案 7 平成25年度被害防止管理事業予算案

<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p> <p>次に会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。</p> <p>これに伴いまして、会議録が会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するために、委員の中から2名の方に署名委員として署名を頂きたいと思います。</p> <p>議題に入る前に、2名の方をお選びいただき、後日、御署名を頂きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を平野委員長にお願いします。</p>
<p>平野議長</p>	<p>それでは、議題に入る前に署名委員を2名決めたいと思います。こちらからの指名でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>刃持委員と石井委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>では、議題に入ります。議題(1)平成24年度事業の経過報告及び予算執行状況について関連がありますので一括して事務局の説明を求めます。</p>
<p>當眞文化財係長(君津市)</p>	<p>平成24年度事業経過について報告いたします。</p> <p>○以下、平成24年12月31日現在で資料に沿って説明。</p> <p>実施した事業は、1. 被害防止、2. 生態調査と個体数管理、3. 天然記念物指定地域の生息環境調査の大きく3つに分けて行われています。</p> <p>1. 被害防止について</p> <p>既存電気柵の維持管理について富津市地区・君津市地区を月1回以上の点検と補修を行った。</p> <p>宇藤原集落については、集落を囲うように設置している電気柵については年3回例年通り電気柵周辺の草刈りを行った。</p> <p>改修については、今年度宇藤原地区の既設電気柵の200m延長する形で行っており、本年度末には完成予定です。</p>

被害多発期の追い払いについては8月6日から31日までの26日間、延べ51人（うち4人はボランティア）で実施した。

主に、T-1群の追跡・監視、または被害予想される場合にはロケット花火を用いて追い払いを行った。また指定地域や要現況変更範囲周辺で他の群れの遊動が確認された場合、遊動監視が必要であれば、T-1群と同様に追い払いを実施した。

被害実態調査については、本年度3月に実施いたします。

2. 生態調査と個体数管理

(1) テレメーターの装着を目的とした捕獲

テレメーターを装着するために、小型捕獲檻を5基（富津市宇藤原地区、高溝地区、君津市平田地区、怒田沢地区、豊英地区）稼働させている。今年度捕獲頭数は1頭で体重6.1kgのオスを捕獲したが、オスはテレメーターの装着には適さないため、個体の外部測定や血液サンプルの採取等を行い、テレメーターは装着せずに放獣した。

(2) 追跡調査

昨年に引き続きT-I群、T-II群、石見堂群の3群を調査対象とした。

①T-I群

i) 行動域

富津市田倉、東大和田、宇藤原地区を遊動していた。11月29日～30日の2日間、平成21年度以来3年ぶりに宇藤原地区で遊動を確認した。

ii) 個体数

8月19日に90頭をカウントした。カウント漏れが少なくても10頭以上いると思われ、昨年同様100頭クラスの大きな群れを維持していると思われる。

②T-II群

i) 行動域

富津市高溝、東大和田、大川崎、大田和、関地区を遊動していた。

ii) 個体数

カウントの機会は得られていない。調査の印象では個体数が少ない群れであると思われる。

③石見堂群

i) 行動域

富津市宇藤原、高溝、田倉地区を遊動していた。

ii) 11月24日に75頭をカウントした。カウント漏れが少なくても10頭以上はいると思われ、昨年と同様100頭クラスの大きな群れを維持していると思われる。

(3) 群れ数調査

11月23日～25日にかけて、現在まで確認している石見堂群の

	<p>行動域内およびその周辺を調査範囲として、区画法による群れ数調査を実施した。またテレメーター装着群の追跡調査も並行して行った。 (実施員数31名) 群調査で確認できたのは、T-1群、T-2群、石見堂群の3群であった。</p> <p>(4) 個体数管理 今年度の有害鳥獣駆除については、例年通り君津市農林振興課、富津市農林水産課から資料を提供いただき、今年度末に取りまとめる予定です。</p> <p>3. 生息環境調査 今年度も例年通り、富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量を測定している。このデータについて、今年度末に取りまとめる予定です。</p> <p>平成24年度事業の経過報告は以上です。</p>																		
<p>小澤文化係長 (富津市)</p>	<p>それでは引き続き平成24年12月31日現在の平成24年度予算執行状況についてご説明いたします。 ○資料に沿って予算執行状況を説明</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入</td> <td>委託料</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(内訳)</td> <td>富津市2,460,000円、</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>君津市2,013,000円)</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>予算額</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>執行済額</td> <td>3,514,156円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>予算残額</td> <td>958,844円</td> </tr> </table> <p>以上です。</p>	歳入	委託料	4,473,000円		(内訳)	富津市2,460,000円、			君津市2,013,000円)	歳出	予算額	4,473,000円		執行済額	3,514,156円		予算残額	958,844円
歳入	委託料	4,473,000円																	
	(内訳)	富津市2,460,000円、																	
		君津市2,013,000円)																	
歳出	予算額	4,473,000円																	
	執行済額	3,514,156円																	
	予算残額	958,844円																	
<p>直井(調査団)</p>	<p>補足説明させていただきます。 執行状況報償費について、137,000円の残になっているが、夏季追い払い事業で予定していたボランティアの謝金ですが、予定していたボランティアの参加がなかったための残です。その分調査員の賃金が増加発生しています。 需用費で、743,000円の残があるが、本年年明けの電気柵の資材費があり、本年度中には使用する予定です。 今年度、計画報告にあります富津市宇藤原地区の電気柵の改修について、大規模な樹木等の伐採を行い、設置を行っている。したがって距離的には、十分ではないがそれなりの作業を行っているので、賃金は上乘せになります。この電気柵によって宇藤原地区はよりよい状況になります。2月いっぱいには工事は終了の予定です。</p>																		

	<p>生態調査と個体数管理についてですが、捕獲に関しては、今年に入って君津市で捕獲がありました。これは調査団と、君津市の野生猿鹿猪等被害対策協議会清和支部長の森さんの協力により、君津市旅名、怒田沢両地区で、捕獲した2頭に新たにテレメーターを装着する予定です。</p> <p>今年度後半は、サルを捕獲しテレメーターを装着することに力をいれた結果です。</p> <p>群れ数調査は、例年全域で行い、それなりの数を押さえていたが、テレメーターがないため、群の特定ができなかった。一方石見堂群については、例年100頭以上の群れである可能性が高い。</p> <p>T-I群、石見堂群とは別に観察の機会があったテレメーターのない群れを、しばしば観察をおこなった。石見堂群の分裂を懸念して、今年度の群れ数の調査では、この石見堂群の分裂が確実なのか調査しました。</p> <p>確認するために指定地域北側の石見堂群の行動域の調査を行ったが、確認できたのはT-I群、T-II群、石見堂群の3群で、いずれもテレメーターの着いている群れで、その他のテレメーターの装着していない群れは、確実ではなかった。調査時の石見堂群は75頭、カウント漏れもあり、石見堂群の分裂はないと言えます。ただ日常的にサブグループの分派行動は行っているため、今後分裂について、新たな群れの形成に発展する可能性はあります。</p>
平野議長	<p>事務局からこの他に説明はありますか。説明が終了しました。ただ今から質疑応答に移りますが、何か御質問等ございますか。</p> <p>私から、質問があります。アカゲザルの交配について。</p>
直井(調査団)	<p>現実には、交雑個体については、外見上尻尾が長い、毛の色が赤いとかわかる個体は、数年前に君津市でオスのサルの写真を撮ったが、その後その個体がどこへ行ったのか確認できない。</p> <p>現実には、DNA鑑定で交雑が出ている微妙な個体はいくつか出てきています。</p>
武次委員	<p>電気柵については、かなり効果があるのか。</p> <p>あとどれくらい電気柵をやれば、目標になるか。</p>
直井(調査団)	<p>現状として、電気柵は効果があります。単純にサルだけではなく猪に関しても、改良の余地はあるが、本当にお金をかけて頑丈な物を作れば越したことはないが、1メートル2,900円では、効果がある</p>

	<p>と考えます。</p> <p>指定地域の電気柵をどれくらいやればいいのかの質問は、富津市に関しては、君津市と違い準指定地域があるため、この地域に関しては本来集落を囲う形で500～600メートルの新規設置と既存電気柵の改修が必要です。一方君津市は指定地域が法木・高宕畑地区だけで、ほぼ電気柵の改修は終わっている状況だが、まだ一部に改修の必要な部分があります。長い距離必要なものではないが、問題は協議地区に設置されている調査団で管理する対象となっている電気柵ですが、今後県の補助金により、改修を行っていくか県の事業と関連して充実させることになっていくと思います。君津市については、法木・高宕畑の電気柵の改修の維持管理が大事です。</p>
平野議長	<p>他にございませんか。</p>
剣持委員	<p>今日、県自然保護課の方がお見えになっていますが、県でニホンザル・アカゲザルの検討会をやっていますが、24年度の予算が難しかったが、25年度以降も予算が厳しいとの話を聞いたが、それがなくなると群れの調査が削減されるのではないかと懸念されるのですが、その見通しについて伺いたい。</p>
千葉県環境生活部自然保護課大澤副主幹	<p>基本的に、モニタリング事業が削られたのではなく、ニホンザル・アカゲザルの交雑のモニタリング事業は、平成23年度まで4年間実施したが、基本的にはモデル事業ということで、今年度から予算措置されていないが、群れ管理ではなく、交雑状況の確認の調査（状況把握の調査）で、4年間やってある一定の事業成果・結果がでたので、報告書を作成しているところです。</p> <p>基本的にモニタリング調査は、調査の中でDNAを使って、交雑個体の判定をしているが、DNAを使った判定方法はすべて把握できるものではございません。他にも、血液タンパク質を使った方法、外形判定等いろいろな方法があるが、すべてを組み合わせても、確実に交雑個体を把握することはできません。基本的に交雑個体を確実に把握できる方法がない、できない状態でモニタリング調査を継続しても、正確な交雑個体の把握は難しいとのことで、基本的に他の手法で、交雑個体を外見上やニホンザルの群れ管理の中で、交雑対策を含めて、やっていこうとのことで、既存の事業の中で交雑対策についてもやっていこうということです。</p>

平野議長	<p>他にございませんか。</p> <p>地元のエリア外の区長さんからT-I群と思われる個体が、かなり見かけられるが、その扱いについて、どうしたらいいのか、どう考えているのかとの問い合わせがあったが、教えてほしい。</p>
直井(調査団)	<p>おっしゃる通り、T-I群は今年度、この2～3日宇藤原に現れました。ほとんど旅名地区だが、最近石見堂群が進出している影響があり、田倉地区から、エンゼルカントリー周辺へ、行動域が移りました。</p> <p>被害防止事業からいえば、従来の主な調査対象からは問題があります。</p> <p>天然記念物事業として、対象をどう考えるのか、詰めなければいけない。</p> <p>一方、県の方は群れ管理という方針を出しています。その中でT-I群をどのように管理していくか。あるいは、石見堂群をどう管理していくか、県と連携の中で、市では農政部局との連携により、この群れをどうするのか、個体調整をするのか。どういう方策を用いるのか。</p> <p>電気柵を優先するか、駆除を優先するかとの検討をしていくかが、今後の天然記念物の事業、県と市の事業を連携して行くかが課題です。T-I群については、資料が整っているため手法もいくらかでも対応ができます。言ってみれば県からいち早く群れ管理の対象になるだろうと判断します。その方向で早急に対策をとれる体制を整えていきたい。</p>
千葉県文化財課平田主任文化財主事	<p>T-I群の取り扱いについては、文化庁からの見解があります。</p> <p>指定地の指定案件について、高宕山の地域とT-I群について一緒になったため、T-I群と高宕山のエリアと2つの要素があった。それが解離しているのが現在の状況です。</p> <p>もしT-I群がエリア外で活動しているのであれば、準指定地域や指定地域は、天然記念物としての従来の意味を持たないかもしれない。その場合には、天然記念物の今のエリアをどう扱うかの方針をはっきりしないことには、「T-I群はいなくなりました。それでは、指定区域はどうしましょう。」という話をするにはできない。</p> <p>まず指定エリアの天然記念物としての役割をはっきり決めて、T-I群が、どのような行動をしているかのデータを出してから、文化庁にT-I群を指定の要件から外す相談をすべきだと思います。</p>
平野議長	<p>コアエリアの扱いについて、過去、富津市長・君津市長の名にて、コアエリア高溝地区には、集落がそっくり入っている。エリアの中に人間が生活していく上で、守るべきものは守っていかなければならな</p>

<p>池田委員</p>	<p>いが、家の中まで入ってこられるのは困る。そう言った中で、このエリアは要望書を両市長名で出しているが、そのへんについてのことと、他の地区に出て行った、その辺については市の中では、教育委員会と農政部局が共同で行っていますが、そこでやるべきものは何かと。この会議でやるべきものはなにか。県と連携してどのようなことができるか。あるいは、国と連携してどういったことができるか。そういったもの本来の房総半島のニホンザルの純血を守っていくのはどうか。</p> <p>新聞紙上では、個体管理が一番いいのではとされているが、そういった中で、県と連携して、被害のある所もありますので、ご協力いただければと。これは要望ですが。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>具体的にやっていかなければならないことが、いっぱいあるのはわかりますが、これをしていく。すぐにするというプランがありますか。</p>
<p>千葉県環境生活部自然保護課大澤副主幹</p>	<p>県の方では、具体的には、計画の中では、群れ管理をして行くと謳っています。ただし、県内には群れが、数多くいるので、把握できている群れは非常に少ない。ということで群れ管理をするほど、群れを把握してはいない現状です。特にコアエリアについては、原則として個体数調整を行わないという形で、計画されているが、被害があるとか加害している状況を、確認していることはありますので、加害レベルによって、ニホンザルについて検討会と協議会の中で、被害対策を検討することによって、コアエリアでも、対応について可能であると考えている。そのへんについて、県と高宕山被害防止管理委員会、あるいは、市町村と連携して対策を進めていければと考えています。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>まだ他に、ございますが。まだ年度途中とのこともありまして、委員の皆様もいろいろ意見もございましたが、そういった意見を入れた中で3月まで行っていってもらえればと思います。</p> <p>ほかに何かございませんか。ないようでしたら議題（2）に移りたいと思います。議題（2）平成25年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局の説明を求めます。</p>
<p>當眞文化財係長</p>	<p>平成25年度事業計画（案）について説明いたします。</p> <p>○以下、資料に沿って説明。</p> <p>平成25年度の事業計画は次のとおり。</p> <p>（1）被害防止事業</p> <p>①既設電気柵の維持管理</p> <p>②被害多発期の追い払いによる被害防止</p>

	<p>③被害実態調査 (2) 生態調査と個体数管理 ①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数 ②個体数管理 (3) 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査 ①環境改変 ②生息環境調査</p> <p>平成25年度事業計画(案)は以上です。</p>																											
小澤文化係長	<p>それでは引き続き平成25年度予算案についてご説明いたします。 ○資料に沿って予算案を説明。</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入</td> <td>委託料</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳</td> <td>富津市2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>君津市2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>予算額</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>報償費</td> <td>110,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,786,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>291,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>1,263,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>22,000円</td> </tr> </table> <p>平成25年度予算(案)につきましては以上です。</p>	歳入	委託料	4,473,000円		内訳	富津市2,460,000円			君津市2,013,000円	歳出	予算額	4,473,000円		報償費	110,500円		賃金	2,786,000円		旅費	291,000円		消耗品費	1,263,500円		役務費	22,000円
歳入	委託料	4,473,000円																										
	内訳	富津市2,460,000円																										
		君津市2,013,000円																										
歳出	予算額	4,473,000円																										
	報償費	110,500円																										
	賃金	2,786,000円																										
	旅費	291,000円																										
	消耗品費	1,263,500円																										
	役務費	22,000円																										
平野議長	事務局から補足説明がありますか。																											
事務局	ありません。																											
平野議長	<p>ご意見は何かございませんか。ないようでしたら、予算につきましては議会の議決を経てからということになります。両市議会の議決が得られた場合には、本委員会としてこの事業(案)、及び予算(案)で事業を実施することに承認を頂いてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>ご意見等もないようですので、議長の職を解かせていただきます。長時間にわたりご審議ありがとうございました。</p>																											

藤江生涯学習
課長

それでは、以上をもちまして、平成24年度第2回天然記念物「高
宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会を閉会いたしま
す。長時間にわたるご審議ありがとうございました。